

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	研究科園芸学専攻						
科目名称	資源植物生産学特論 I				授業形態	講義					
科目コード	631001	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブラーニング	○		
担当教員名	廣瀬 大介							ICT活用			
授業概要	<p>人類にとって有益とされる（または有益となる可能性がある）植物を資源植物と定義されるが、文明の発達と共にその数や範囲は増加する傾向にある。本科目では資源植物を栽培植物と未利用植物に分けてそれぞれを解説し、資源植物とは何かを理解させる目的で行う。なお、資源植物は、年々変わっていくので最新の論文を元に授業を進めていく。</p>										
関連する科目	履修前に履修すべき科目はない。履修後は、資源植物生産学特論Ⅱを受講することが望ましい。										
授業の進め方と方法	毎回、アクティブラーニング型授業を実施する。各回のテーマに沿って教員が講義を行い、それに対して各自、考え方を述べる方法で行っていく。										
授業計画	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 第1回 資源植物とは何か 第2回 資源植物の種類 1 穀類 第3回 資源植物の種類 2 マメ科作物 第4回 資源植物の種類 3 イモ類 第5回 資源植物の種類 4 野菜類 第6回 資源植物の種類 5 澱粉科作物 第7回 資源植物の種類 6 繊維科作物 第8回 資源植物の種類 7 甘味糖科作物 第9回 資源植物の種類 8 北方系薬用作物 第10回 資源植物の種類 9 南方系薬用作物 第11回 資源植物の種類 10 油科作物 第12回 資源植物の種類 11 ゴム・樹脂作物 第13回 資源植物の種類 12 土壌保全作物 第14回 資源植物の種類 13 緑肥作物 第15回 資源植物の種類 14 不良環境に対して適応能力も持つて学ぶ。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 資源植物とは何かについて学ぶ。□ 穀類の種類とその利用について学ぶ。□ マメ科作物の種類とその利用について学ぶ。□ イモ類の種類とその利用について学ぶ。□ 野菜類の種類とその利用について学ぶ。□ 澱粉科作物の種類とその利用について学ぶ。□ 繊維科作物の種類とその利用について学ぶ。□ 甘味糖科作物の種類とその利用について学ぶ。□ 北方系薬用作物の種類とその利用について学ぶ。□ 南方系薬用作物の種類とその利用について学ぶ。□ 油科作物の種類とその利用について学ぶ。□ ゴム・樹脂作物の種類とその利用について学ぶ。□ 土壌保全作物の種類とその利用について学ぶ。□ 緑肥作物の種類とその利用について学ぶ。□ 不良環境に対して適応能力も持つ作物の種類とその利用に </td> </tr> </table>									第1回 資源植物とは何か 第2回 資源植物の種類 1 穀類 第3回 資源植物の種類 2 マメ科作物 第4回 資源植物の種類 3 イモ類 第5回 資源植物の種類 4 野菜類 第6回 資源植物の種類 5 澱粉科作物 第7回 資源植物の種類 6 繊維科作物 第8回 資源植物の種類 7 甘味糖科作物 第9回 資源植物の種類 8 北方系薬用作物 第10回 資源植物の種類 9 南方系薬用作物 第11回 資源植物の種類 10 油科作物 第12回 資源植物の種類 11 ゴム・樹脂作物 第13回 資源植物の種類 12 土壌保全作物 第14回 資源植物の種類 13 緑肥作物 第15回 資源植物の種類 14 不良環境に対して適応能力も持つて学ぶ。	資源植物とは何かについて学ぶ。□ 穀類の種類とその利用について学ぶ。□ マメ科作物の種類とその利用について学ぶ。□ イモ類の種類とその利用について学ぶ。□ 野菜類の種類とその利用について学ぶ。□ 澱粉科作物の種類とその利用について学ぶ。□ 繊維科作物の種類とその利用について学ぶ。□ 甘味糖科作物の種類とその利用について学ぶ。□ 北方系薬用作物の種類とその利用について学ぶ。□ 南方系薬用作物の種類とその利用について学ぶ。□ 油科作物の種類とその利用について学ぶ。□ ゴム・樹脂作物の種類とその利用について学ぶ。□ 土壌保全作物の種類とその利用について学ぶ。□ 緑肥作物の種類とその利用について学ぶ。□ 不良環境に対して適応能力も持つ作物の種類とその利用に
第1回 資源植物とは何か 第2回 資源植物の種類 1 穀類 第3回 資源植物の種類 2 マメ科作物 第4回 資源植物の種類 3 イモ類 第5回 資源植物の種類 4 野菜類 第6回 資源植物の種類 5 澱粉科作物 第7回 資源植物の種類 6 繊維科作物 第8回 資源植物の種類 7 甘味糖科作物 第9回 資源植物の種類 8 北方系薬用作物 第10回 資源植物の種類 9 南方系薬用作物 第11回 資源植物の種類 10 油科作物 第12回 資源植物の種類 11 ゴム・樹脂作物 第13回 資源植物の種類 12 土壌保全作物 第14回 資源植物の種類 13 緑肥作物 第15回 資源植物の種類 14 不良環境に対して適応能力も持つて学ぶ。	資源植物とは何かについて学ぶ。□ 穀類の種類とその利用について学ぶ。□ マメ科作物の種類とその利用について学ぶ。□ イモ類の種類とその利用について学ぶ。□ 野菜類の種類とその利用について学ぶ。□ 澱粉科作物の種類とその利用について学ぶ。□ 繊維科作物の種類とその利用について学ぶ。□ 甘味糖科作物の種類とその利用について学ぶ。□ 北方系薬用作物の種類とその利用について学ぶ。□ 南方系薬用作物の種類とその利用について学ぶ。□ 油科作物の種類とその利用について学ぶ。□ ゴム・樹脂作物の種類とその利用について学ぶ。□ 土壌保全作物の種類とその利用について学ぶ。□ 緑肥作物の種類とその利用について学ぶ。□ 不良環境に対して適応能力も持つ作物の種類とその利用に										
授業の到達目標	資源植物とは何かを理解することを目標としている【知識・理解の育成】。										
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・技能と教養-(1)食・緑」の専門分野における高度な知識・技能/2. 人間力・社会性・国際性-(2)課題を広い視野で捉え、客観的に評価ができる。										
授業時間外学習【予習】	授業ごとの基本的内容を事前に把握しておくこと（約1時間）。										
授業時間外学習【復習】	授業内容の十分な理解に努めること（約1時間）。										
課題に対するフィードバック	提出されたレポートについて講評する。										
評価方法・基準	受講態度（50点）、課題提出（50点）										
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。										
参考書	資源植物学-研究方法への手引き										
備考											